

性格特性用語の研究 I

尾 関 守・小 田 哲 久

A Study of Personality Trait Words. I

Mamoru OZEKI and Tetsuhisa ODA

It is important to provide the table of the personality trait words with the psychologically evaluated values in order to study human processes of impression formation. This study consisted of two parts: (1) the words selection and (2) the empirical evaluation of the words selected. Forty six male students were instructed to describe personality trait words as many as they could recall. The words were listed and then screened to 100 words. The 30 personality trait words which had been selected by Aoki³⁾ were added to the 100 words. The subjects used for the evaluation were 170 male college students who were divided into four groups. Each group rated the 130 words on the basis of the semantic likability on a 7-point scale. One week after the experiments, reexperiments were carried out to test the reliability of the experimental procedure. The mean values (\bar{x}) and the standard deviations (s) of the 130 words were tabulated for each group. Visual inspection of the data revealed the tendency of each subject. To discuss the reliability of the mean values, the Linear Regression Analyses were conducted on the results of this study vs. the Aoki's study. This study confirmed that the mean values prepared as the table were useful for a study of human processes of impression formation.

I 序文 性格表現用語の抽出と分類,ならびに心理的な評定値の測定といった作業は,評定法による人格評定を行ううえで,最も根本的な課題であり,欧米に於ては古くから研究が行なわれ,比較的最近のものとして,N. H. Andersonが,555語の性格用語について,好ましさの評価値を求めた研究¹⁾がある。この研究は,Andersonが,S. E. Ashによる,言葉による印象形成の研究²⁾を発展させて,単純な判定作業における情報統合の問題として意味づけた一連の研究の中で基礎データとして用いる必要性から行ったもので,そのデータは公表以前より,Anderson自身を含め,印象形成過程研究者たちに利用されてきたが,公表以後,研究者たちの,知的共有財産となった感すらある。

このAndersonの公表した,語のリストに対応しうる日本でのデータとしては,千葉大学,青木考悦教授が「性格表現用語の心理一辞典的研究—455語の選択,分類および望ましさの評定—」³⁾の中で公表されたものがあり,抽出・評定の方法が厳密で,信頼度が高く,かつ,一般研究者に利用しやすいデータとして,非常に貴重な資料である。

我々がここに呈示するリストは,上記の二研究を背景としたもので,我々が名古屋地区の大学生を被験者として,情報統合過程の研究⁴⁾を行ってゆく為の基礎データ

として抽出・評定したものであり,資料の利用目的としては,Anderson²⁾に近いものである。

II 研究目的

最大の目的は,既にのべたとおり,情報統合過程研究の基礎データとしての使用に適した,性格表現の用語の抽出と,各語に対する,「好ましさ」の評定値の測定であるが,附随的な目的として,評定法実験一般にもつながりうる,次の3つの項目にも検討を加えることとした。
 検討項目1. 被験者個々人の評定の仕方何らかの個性があらわれるか否かを,評定値の分布の面から検討する。
 検討項目2. 被験者群の一部に再現実験を行い,評定値の分布の面から,再現性を検討する。
 検討項目3. 青木の呈示した語と一致する語について,比較を行い,時間・地域・測定方法・統計処理方法の相違など,多くの要因を越えて尚,どの程度の再現性がみられるかを検討する。同様の検討を,我々の対象とした被験者群の間でも行う。

III 研究方法

(1) 被験者に,思いつく限りの人物形容語を白紙上に自由に記入させた。(人物形容語抽出実験)

被験者は,愛知工業大学経営工学科3年生男子(以下

3 Kと略す) 23名および、同経営工学科社会工学コース3年生男子(以下3 K Sと略す。)20名であり、実験は昭和53年10月に行なわれた。実験時間は、3 Kに対して30分、3 K Sに対しては60分とし、別の日時に行なわれた。

(2) (1)で抽出された形容語を、アイウエオ順に整理して、頻度表の形で集約し、それからさらに明らかな同義語は統合し、又、特定職業を連想させる語、動物・器物名を含む語、身体的特徴を表現する語等を省いて、表を縮小し、両被験者群ごとの頻度表にまとめ、次に両頻度表を突き合わせ、頻度の高い順に100語を選択した。

(3) (2)で得られた100語に、青木³⁾によって「使用頻度の高い形容語」として呈示された127語のうち、我々の抽出した100語と合致しない形容語から、ランダムに30語を選んで追加し計130語の一覧表を作成した。

(4) (3)で得られた130語を、-3から+3までの、7段階のスケール上に評定させる形式で、評定用紙を作成した。

ただし、語の呈示順序は、上記130語をランダム化して決定した。尚、評定用紙は記名式とし、次の様な教示が用紙の最初の頁に記載され、練習(5語)に先だって読みあげられた。

〔教示〕あなたが次にあげる言葉を使って人を評価します。

①その言葉が、

①良い印象の時に使うと思われる場合は、中心(0)より右側、

②悪い印象の時に使うと思われる場合は、中心(0)より左側、

として、○印を該当位置につけて下さい。

(注)但し、どちらでもない場合は、中心(0)の所へ○印を。

②次にその判断をした言葉の度合いを

(1)とても(悪い)印象の時に
使う……………(3)

(2)かなり(悪い)印象の時に
使う……………(2)

(3)やや(悪い)印象の時に
使う……………(1)

として、○印を該当位置につけて下さい。

(5) こうして完成した評定用紙を用いて、各語に対する評定値を求める実験を行った。(人物形容語評定実験)被験者は、名古屋芸術大学美術学部工業デザイン科3年生男子(以下3 I Dと略す。)33名と、愛知工業大学経営工学科2年生男子(以下2 Kと略す。)96名、3 K 23名、3 K S 18名で、評定時間は特にコントロールしなかったが、ほぼ20分ないし30分を要した。実験は、昭和53年12月末より、昭和54年1月末にかけて行なわれた。

(6) 3 K、3 K Sの両被験者群については、(5)の実験の7日後に再度、同一用紙を用いて実験を行った。(再現実験)被験者数は、3 K 22名、3 K S 23名であり、このうち(5)の実験との同一人物は、3 K 22名、3 K S 12名であった。

IV 結果

(1) 人物形容語抽出実験の結果、表1および表2に示すような、人物形容語が、各被験者群より抽出された。被験者1人当りの記述語数は、3 Kが約50語、3 K Sが約100語であり、ほぼ実験時間に比例しているため、実験時間を延長すれば、まだまだ多くの語が抽出されるものと思われる。この実験時間の相違を勘案して、3 Kの場合は3人以上が記述した人物形容語を、3 K Sの場合は6人以上が記述した人物形容語を採りあげた。この2つの表をつきあわせて、頻度の高い順に100語を選択して、次の評定実験の刺激語とするわけであるが、これらの語の中には、学生あるいは若者特有の語(例えば、「おじん臭い」などがこれに該当するが、これらの語は、流行語としての性質も備えている場合も多い。)とか、方言あるいは地域的に限定された領域でのみ用いられる語(例えば「どん臭い」など)も含まれており、又、それ自身、望ましさの評定である語(例えば「すばらしい」、「悪い」など)も含まれているので、研究方法(2)で決めておいた選択基準にあわせ、上記の基準も考えて、個々の語を検討し、次の実験の採否を決定した。尚、表1、表2の右端の欄はその採否判定の結果を示すが、○印はそのまま採用するもの、△印は若干変型して採用するもの(「さみしい」→「さみしがりや」、「せこい」→「こせこせした」、「まぬけ」→「間が抜けている」、「弱い」→「気が弱い」)、×印は不採用をあらわす。

(2) こうして得られた100語に、青木²⁾によって抽出された語を30語追加し、計130語として、研究方法(5)、(6)の、人物形容語評定実験及び同再現実験を行った結果を、各被験者群別に、各語の評価点の平均値 \bar{x} と標準偏差 s を計算し、一覧表にまとめたものが表3である。ただし、これらの数値は、個人データをその個人の評価傾向にもとづいて規準化するなどの、一切の操作を行わず、単純に集計したものである。尚、 s は不偏分散 V の平方根を用いた。

(3) 研究目的に述べた、3つの検討項目の為に、図1から図12及び表4が作成された。その詳細は次章に記す。

表1 人物形容語抽出実験結果(3K)

形容語	記述 人数	3K と 同語	採 否
明るい	3	○	○
飽きっぽい	3	○	×
あたたかい	7	○	○
阿呆みたい	4	△	×
いいかげんな	3	○	○
意地悪な	6	○	○
田舎臭い	3		○
いやらしい	11	○	○
陰気な	3		○
陰険な	4	○	○
いんらん	3		×
ういういしい	4		○
うっとおしい	5	○	○
うざうざ	3		×
おしゃべり	3	○	○
おじん臭い	3		×
落ち着きのない	7	○	○
おっちょこちょい	5	○	○
男らしい	3	○	×
おとなしい	9	○	○
おもしろい	11	○	○
賢い	4	○	○
かたい	3		×
カッコイイ	9	○	○
がめつい	3		○
かわいい	4	○	○
気が長い	3		○
気が短い	4		○
キザ	4	○	○
きさくな	3		○
きたない	7	○	×
きつい	4		○
気の多い	3		○
きまえのいい	8	○	○
きまじめ	4		○

表2 人物形容語抽出実験結果(3KS)

形容語	記述 人数	3K と 同語	採 否
きれい	6		
ケチ	13	○	○
こすい	3	○	×
子供っぽい	13	△	○
こわい	4	○	×
しつこい	9	○	○
秀才	3		×
神経質	4	○	○
心配性	3		○
ずうずうしい	10	○	○
すがすがしい	3		○
助平	6	○	×
すばらしい	3	○	×
スマート	3		×
ずるい	9	○	○
するどい	5		○
せこい	12		△
頼もしい	3		○
たよれる	4		○
つばっている	3	○	×
冷たい	5	○	○
ドジ	3	○	○
鈍感	3		○
どん臭い	6	○	×
なまけ者	4		○
にぶい	6		○
のろい	6		×
のろま	3	○	○
のんき	3		○
ひねくれた	6		○
ふまじめ	6	○	○
まじめ	11	○	○
やさしい	13	○	○
ユニークな	3		×

形容語	記述 人数	3K と 同語	採 否
明るい	12	○	○
飽きっぽい	12	○	×
あくどい	7		○
あたたかい	16	○	○
頭のいい	15		○
阿呆	25	△	×
甘い	13		○
いい加減な	8	○	○
いい奴	8		×
意地悪な	7	○	○
いやな	7		○
いやらしい	14	○	○
陰険な	15	○	○
うそつき	7		○
うっとおしい	14	○	○
うるさい	9		○
おかしい	6		○
おしゃべり	8	○	○
落ち着きのない	8	○	○
おっちょこちょい	9	○	○
おっとりした	8		○
おそろしい	6		○
男らしい	10	○	×
おとなしい	9	○	○
おひとよし	7		○
おもしろい	14	○	○
温厚な	6		○
女らしい	8		×
カッコイイ	11	○	○
活発な	6		○
賢い	12	○	○
がまん強い	11		○
かわいい	11	○	○
ガンコ	13		○
キザ	7	○	○

形容語	記述 人数	3K と 同語	採 否
きたない	17	○	×
きちがい	8		×
きちょうめんな	8		○
きにくわない	6		○
きまえがいい	8	○	○
きもち悪い	9		×
クールな	6		×
グズグズした	6		○
口が悪い	6		○
口ばかりの	7		○
くどい	11		○
暗い	7		○
ケチ	17	○	○
謙虚な	6		○
こすい	13	○	×
子供みtain	20	△	○
こまめ	6		○
こわい	14	○	×
根性のある	10		○
きびしい	12		△
しつこい	11	○	○
じみ	6		○
消極的な	6		○
神経質	10	○	○
ずうずうしい	6	○	○
助平	13	○	×
素直な	6		○
すばらしい	6	○	×
ずるい	17	○	○
ずるがしこい	6		○
積極的な	6		○
大胆な	6		○
たわけ	14		×
短気	12		○
単純	6		○

形容語	記述 人数	3K と 同語	採 否
つきあにくい	8		○
つばっている	7	○	×
強い	10		×
冷たい	9	○	○
ドジ	12	○	○
とろい	14		×
どん臭い	19	○	×
憎い	6		×
憎たらしい	11		×
ねちっこい	6		×
のろま	9	○	○
バカ	23		○
ハゲ	9		○
ひきょう	8		○
人がいい	6		○
敏感	7		○
ふまじめ	7	○	○
変態	10		×
まじめ	18	○	○
まぬけ	18		△
みえっぱり	6		○
みにくい	8		×
魅力的	6		○
無口	10		○
やさしい	25	○	○
野性的	6		×
愉快	6		○
陽気な	6		○
要領のいい	8		○
弱い	10		△
りっぱな	10		○
忘れっぽい	6		○
悪い	13		×

表3 人物形容語評定実験結果

呈示 No.	形 容 語	名 芸 大 3 I D		愛 工 大 2 K		愛 工 大 3 K (1)	
		\bar{x}	s	\bar{x}	s	\bar{x}	s
1	あまい	-0.58	1.37	-0.42	1.40	-0.09	1.28
2	無 口	-0.67	1.22	-0.53	0.81	-0.44	0.66
3	みえっぱり	-1.03	1.29	-1.49	0.99	-1.74	0.69
4	ずうずうしい	-1.61	1.25	-1.80	0.89	-1.87	1.18
5	カッコイイ	0.76	1.23	0.44	1.16	0.78	1.24
6	元気の良い	1.42	1.52	1.40	0.96	1.44	0.84
7	意地悪な	-1.30	1.55	-1.93	0.91	-1.87	0.69
8	おっとりした	0.15	1.00	0.23	0.96	0.09	0.73
9	努力家	1.73	1.40	1.74	1.00	1.87	0.97
10	じ み	0.12	0.82	0.32	0.92	0.26	0.86
11	きまじめ	0.09	1.13	0.48	0.86	0.39	0.78
12	いやな	-1.43	1.17	-1.63	0.85	-1.39	0.72
13	きさくな	1.27	1.10	1.30	0.93	1.22	1.17
14	陽気な	1.61	1.12	1.83	0.84	1.96	0.71
15	ひかえめな	0.36	0.99	0.59	1.06	0.65	0.89
16	用心深い	0.03	1.05	-0.18	1.08	-0.17	0.65
17	恐ろしい	-1.46	1.30	-1.37	1.07	-1.39	1.08
18	心配性	-0.64	1.03	-0.71	0.91	-0.91	0.85
19	謙虚な	1.12	1.14	0.87	0.94	0.74	1.10
20	気楽な	1.33	0.96	1.04	1.02	1.13	0.62
21	あくどい	-2.03	1.31	-2.19	0.98	-2.17	0.58
22	子供みtainな	-0.15	1.42	-0.05	1.29	-0.13	1.01
23	行動的	1.67	1.08	1.49	0.82	1.48	0.90
24	気が長い	0.18	1.19	0.31	1.05	0.48	0.90
25	おかしい	0.09	1.57	-0.03	1.28	0.03	0.82
26	社交的	1.21	1.34	1.28	0.93	1.35	0.93
27	気軽な	1.00	1.20	1.18	1.16	1.04	0.88
28	人付きあいの良い	1.70	1.19	1.89	1.00	1.91	0.84
29	うっとおしい	-1.97	1.16	-2.10	0.75	-1.65	0.49
30	ひねくれた	-1.76	1.20	-2.01	0.91	-1.78	0.60
31	バ カ	-1.64	1.43	-1.63	1.21	-2.00	1.00
32	思いやりのある	1.91	0.91	1.98	0.96	1.65	0.78
33	おしゃべり	-0.73	1.21	-0.51	0.82	-0.74	0.86
34	陰気な	-1.27	1.53	-1.27	1.15	-1.31	1.20
35	落ち着きのない	-1.15	1.03	-1.24	0.68	-1.26	0.54
36	ひきょう	-2.49	0.94	-2.43	0.68	-2.52	0.51
37	念入りな	0.76	1.00	0.46	0.99	0.26	0.92
38	こまめ	0.76	0.90	0.64	0.93	0.83	0.78
39	頼れる	1.91	1.04	1.83	0.96	2.00	0.80
40	あたたかい	1.88	1.32	2.02	0.86	2.17	0.78
41	ずるい	-1.97	0.81	-2.03	0.86	-2.17	0.72
42	寛大な	1.79	1.08	1.58	0.93	1.74	0.92
43	かわいい	1.64	1.06	1.48	1.21	1.61	0.89
44	け ち	-1.12	1.11	-1.56	0.93	-1.70	0.88
45	派手な	0.03	1.16	-0.67	1.02	-0.78	1.00

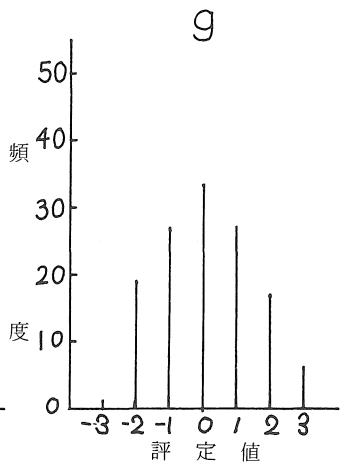
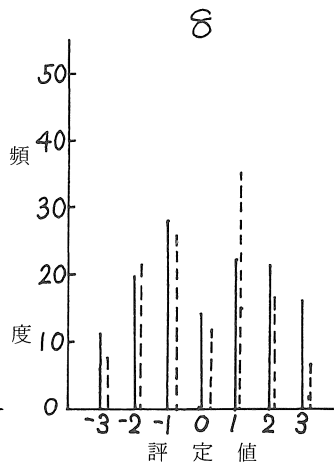
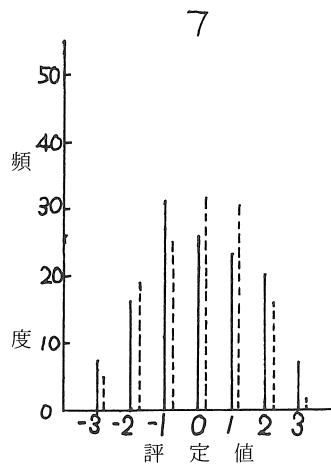
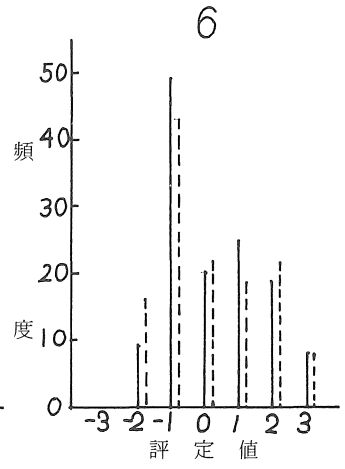
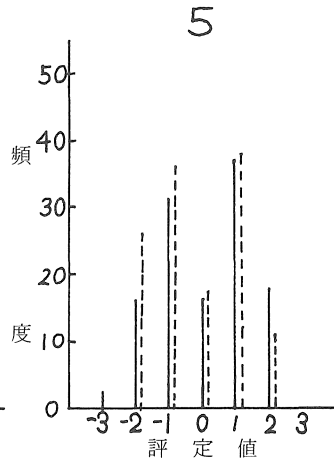
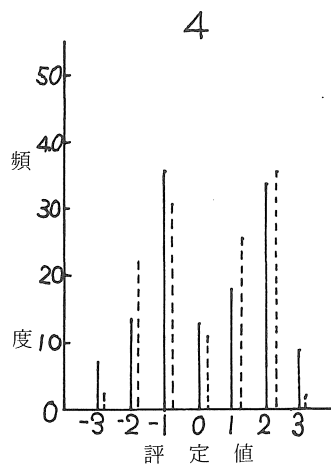
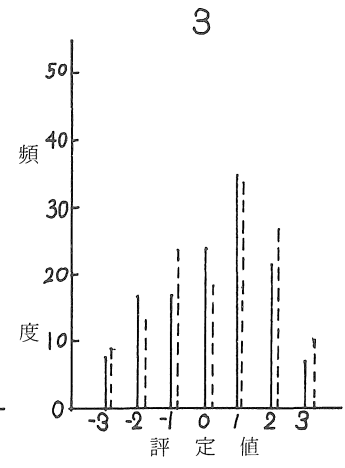
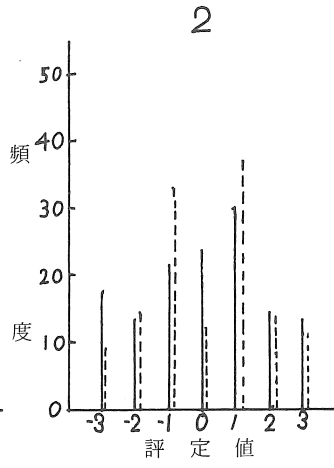
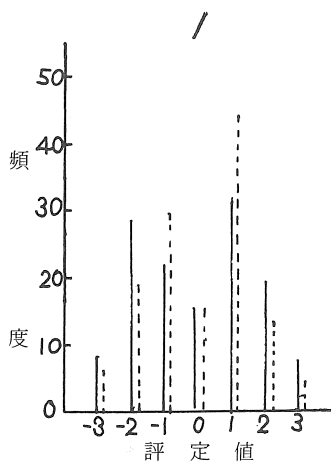
呈示 No.	愛工大3K(2)		愛工大3KS(1)		愛工大3KS(2)		青木に よる語	青木とし 対する語
	\bar{x}	s	\bar{x}	s	\bar{x}	s		
1	-0.36	0.95	0.56	1.04	-0.17	0.94		
2	-0.77	0.53	-0.61	0.50	-0.65	0.89		*
3	-1.41	0.69	-1.28	0.75	-1.13	1.06		*
4	-1.73	0.63	-1.72	0.67	-1.39	1.31		
5	0.59	0.85	0.56	1.04	0.39	1.08		
6	1.14	0.94	1.39	0.78	1.17	0.94	*	*
7	-1.73	0.70	-1.44	0.78	-1.17	1.11		*
8	0.05	0.72	0.06	0.87	0.09	0.85		*
9	1.68	0.65	2.00	0.49	1.61	0.89	*	*
10	0.18	0.59	0.28	0.67	0.26	0.92		
11	0.64	0.73	0.89	1.02	0.35	1.07		*
12	-1.41	0.73	-1.28	0.90	-1.35	0.89		
13	1.09	0.75	-1.33	0.91	1.00	0.80		
14	1.64	0.66	1.78	0.73	1.44	0.73		*
15	0.36	0.79	0.56	0.62	0.22	0.85	*	*
16	-0.09	0.75	-0.22	0.65	-0.44	0.73	*	*
17	-1.36	1.05	-1.17	0.86	-0.96	0.88		
18	-0.55	0.67	-0.72	0.90	-0.48	0.79		*
19	0.68	0.95	0.83	0.99	-0.74	0.62		*
20	0.82	0.66	0.83	0.79	0.96	0.71	*	*
21	-2.14	0.71	-2.17	0.79	-1.91	1.08		
22	-0.41	0.91	-0.28	0.90	-0.58	1.12		
23	1.18	0.80	1.50	0.86	1.39	0.78	*	
24	0.41	0.73	0.39	0.92	0.57	0.90		*
25	0.14	0.99	-0.56	1.25	-0.26	1.39		
26	0.95	0.65	1.17	0.71	1.04	0.98	*	*
27	1.00	0.31	1.28	0.75	0.96	0.77	*	*
28	1.77	0.69	1.83	0.62	1.35	1.03	*	*
29	-1.64	0.58	-2.28	0.75	-1.61	0.89		
30	-1.68	0.48	-2.00	0.77	-1.70	0.88		*
31	-1.68	0.95	-2.06	0.80	-2.00	1.00		
32	1.59	0.59	2.00	0.59	1.52	0.90	*	*
33	-0.64	0.85	-0.89	0.68	-0.35	0.89		*
34	-1.05	1.25	-1.00	1.14	-0.52	1.34		
35	-1.09	0.43	-1.33	0.91	-0.96	1.02		*
36	-2.36	0.58	-2.56	0.62	-2.04	1.15		
37	0.45	0.67	0.89	0.68	0.30	0.70	*	*
38	0.64	0.58	1.11	0.83	0.44	0.84		*
39	1.73	0.70	1.72	0.90	0.96	0.98		
40	1.86	0.64	2.11	0.90	1.87	0.69		
41	-2.05	0.72	-1.89	0.76	-1.65	0.98		
42	1.68	0.72	1.72	0.83	1.48	0.79	*	*
43	1.27	0.83	1.22	1.17	1.09	0.90		
44	-1.46	0.60	-1.39	0.70	-1.39	1.20		
45	-0.77	0.69	-0.78	1.00	-0.48	1.24		

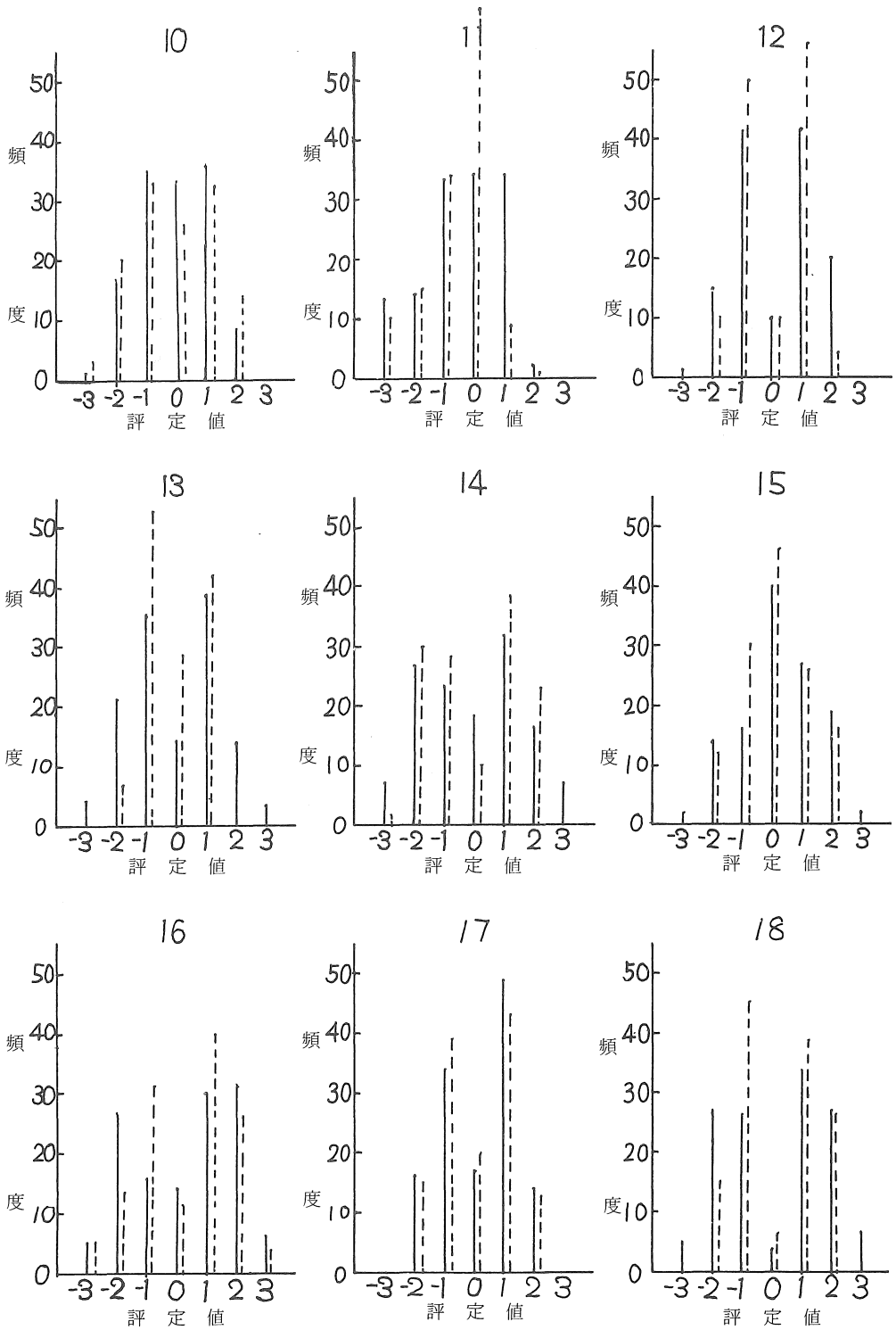
呈示 No.	形 容 語	名 芸 大 3 I D		愛 工 大 2 K		愛 工 大 3 K (1)	
		\bar{x}	s	\bar{x}	s	\bar{x}	s
46	すなお	1.52	1.20	1.60	0.98	1.87	0.87
47	根性がある	1.39	1.68	1.76	1.01	1.87	0.76
48	かしこい	1.06	1.32	1.24	1.09	0.96	0.64
49	暗い	-1.27	1.01	-1.20	0.94	-1.31	0.64
50	うるさい	-1.07	1.09	-1.53	0.87	-1.70	0.56
51	活発な	1.48	1.03	1.38	0.86	1.13	0.92
52	じみちな	0.64	1.14	0.96	0.89	0.74	1.01
53	気前がいい	0.64	0.90	0.96	0.96	1.04	0.83
54	がめつい	-1.52	0.91	-1.43	0.98	-1.61	0.72
55	口が悪い	-1.27	1.26	-1.49	1.04	-1.83	0.72
56	キザ	-1.55	1.42	-2.00	0.98	-1.96	0.77
57	鈍感	-1.27	1.26	-1.26	0.97	-1.17	0.72
58	グズグズした	-1.76	0.87	-1.75	0.88	-1.48	0.51
59	勤勉な	0.88	1.08	1.16	1.01	1.00	0.67
60	包容力のある	1.88	0.89	1.66	0.93	1.74	0.75
61	しんぼう強い	1.27	1.46	1.61	1.03	1.39	0.84
62	ずるがしこい	-1.64	1.19	-1.73	1.09	-1.96	0.77
63	いなか臭い	-1.27	1.28	-0.74	1.28	-0.96	0.98
64	善意のある	1.21	1.34	1.41	0.83	1.39	0.66
65	自発的な	1.24	0.66	1.18	0.85	1.35	0.65
66	お人よし	0.24	1.15	0.20	1.16	0.30	1.06
67	温厚な	0.88	0.82	1.19	0.74	1.22	0.60
68	さみしがりや	0.18	1.10	-0.03	1.10	-0.17	0.83
69	大胆な	1.09	1.07	0.49	1.12	0.30	0.70
70	すがすがしい	1.67	1.38	1.60	0.99	1.61	0.99
71	気の多い	-0.09	1.42	-0.58	0.94	-0.65	0.57
72	物静か	0.45	1.03	0.38	0.99	0.52	0.79
73	しつこい	-1.76	1.12	-1.94	0.87	-1.83	0.72
74	間が抜けている	-1.12	1.67	-1.25	1.19	-1.04	0.98
75	のんき	-0.18	1.04	-0.22	1.09	-0.17	0.78
76	ういういしい	1.18	0.85	0.85	1.01	0.87	0.76
77	冷たい	-0.97	1.36	-1.06	1.04	-1.48	0.73
78	気が弱い	-1.18	0.88	-0.99	0.90	-0.96	0.64
79	にぶい	-1.67	0.82	-1.41	0.99	-1.35	0.49
80	慎重な	0.55	1.09	0.65	0.89	0.39	0.66
81	なまけもの	-1.70	1.31	-1.74	0.86	-1.83	0.72
82	冷静な	1.12	1.14	0.90	1.10	0.65	1.03
83	どじ	-1.09	1.42	-1.15	1.30	-1.13	0.87
84	きちょうめん	0.85	1.20	0.67	0.98	0.96	1.02
85	こりしょう	0.09	1.18	0.14	1.00	0.09	0.95
86	おとなしい	0.30	1.01	0.42	1.10	0.43	0.66
87	くどい	-1.64	1.06	-1.83	0.72	-1.61	0.58
88	敏感	1.12	1.19	0.67	0.93	0.61	0.89
89	短気	-1.03	0.88	-1.17	0.89	-1.44	0.83
90	きつい	-0.94	1.34	-1.18	0.95	-1.13	0.69

呈示 No.	愛工大 3 K (2)		愛工大 3 K S (1)		愛工大 3 K S (2)		青木に よる語	青木とし 対する語
	\bar{x}	s	\bar{x}	s	\bar{x}	s		
46	1.64	0.90	1.50	0.71	1.30	0.77		*
47	1.59	0.80	2.17	0.62	1.78	0.85		
48	1.23	0.75	1.39	0.85	1.30	1.06		
49	-1.14	0.56	-1.00	0.69	-0.83	1.03		
50	-1.23	0.43	-1.50	0.62	-1.26	1.14		
51	1.14	0.83	1.28	0.58	1.17	0.78		*
52	0.77	0.92	0.94	0.80	0.91	0.85	*	*
53	0.73	0.83	0.83	0.62	0.65	0.83		
54	-1.41	0.59	-1.22	0.65	-1.30	0.77		
55	-1.73	0.63	-1.33	0.91	-1.44	0.99		
56	-1.73	0.88	-1.89	0.96	-1.91	0.95		
57	-1.23	0.61	-1.17	0.99	-0.83	0.98		
58	-1.32	0.89	-2.06	0.73	-1.30	1.06		
59	1.05	0.79	1.06	0.80	0.61	0.99	*	
60	1.69	0.78	1.28	0.75	1.04	1.26	*	*
61	1.36	0.66	1.28	0.75	1.22	0.74	*	
62	-1.73	0.55	-1.11	0.70	-1.26	1.01		
63	-0.96	0.72	-1.50	0.92	-1.00	0.90		
64	1.27	0.55	1.28	0.90	1.26	0.69	*	*
65	1.18	0.73	0.72	0.83	1.00	0.95	*	*
66	0.14	1.04	-0.33	1.03	0.13	1.01		*
67	1.27	0.55	1.50	0.86	0.96	0.77		*
68	-0.50	0.60	0.06	0.88	0.09	0.52		*
69	0.45	0.74	0.17	0.79	0.61	0.72		
70	1.36	0.73	1.22	0.94	1.44	0.79		
71	-0.73	0.63	-0.78	0.81	-0.39	0.78		*
72	0.27	0.63	0.28	0.67	0.39	0.72	*	
73	-1.50	0.51	-1.61	0.70	-1.61	0.94		*
74	-1.14	0.71	-1.67	0.84	-1.61	0.72		
75	-0.46	0.80	0.00	0.77	-0.13	0.82		*
76	0.91	0.53	0.94	0.87	0.70	0.70		
77	-1.27	0.77	-0.94	0.64	-0.83	0.78		
78	-1.09	0.61	-1.17	0.71	-0.91	0.85		
79	-1.50	0.60	-1.50	0.79	-1.44	0.84		
80	0.50	0.80	0.72	0.83	0.57	0.66	*	*
81	-1.73	0.76	-1.83	0.79	-1.61	1.16		
82	0.41	1.10	0.83	0.92	0.83	1.03	*	
83	-1.09	0.68	-1.50	0.86	-1.42	1.20		
84	0.82	0.80	0.72	0.58	0.52	1.20		*
85	0.14	0.89	0.33	0.77	0.30	0.88	*	*
86	0.73	0.70	0.56	0.62	0.65	0.71		*
87	-1.46	0.51	-1.72	0.75	-1.48	1.04		*
88	0.82	0.91	0.78	1.00	0.61	1.11		*
89	-1.18	0.66	-1.11	0.76	-1.13	0.92		*
90	-1.09	0.68	-0.94	1.06	-1.00	1.09		

呈示 No.	形 容 語	名 芸 大 3 I D		愛 工 大 2 K		愛 工 大 3 K (1)	
		\bar{x}	s	\bar{x}	s	\bar{x}	s
91	たのもしい	1.70	0.73	1.36	0.87	1.39	0.84
92	人間味のある	1.61	1.58	1.76	0.98	2.00	0.85
93	消極的な	-1.61	1.00	-1.04	0.89	-0.96	0.56
94	がまん強い	1.09	1.23	1.22	0.90	1.17	0.89
95	積極的な	1.91	0.88	1.28	1.00	1.39	0.72
96	やさしい	2.00	0.87	1.86	0.96	2.17	0.83
97	付き合いにくい	-1.43	1.28	-1.75	0.92	-1.52	0.70
98	こせこせした	-1.61	0.93	-1.61	0.86	-1.39	0.72
99	おっちょこちょい	-1.43	0.72	-0.23	1.03	-0.39	0.72
100	要領のいい	-0.58	1.54	-0.80	1.19	-0.57	1.16
101	負けず嫌いな	0.82	1.19	0.38	1.12	0.48	1.31
102	神経質	-0.58	1.06	-0.75	0.97	-0.91	0.60
103	単 純	-0.46	1.12	-0.50	1.13	-0.61	0.84
104	気が短い	-0.97	0.98	-1.14	0.88	-1.26	0.50
105	がんこ	-0.73	1.13	-1.10	1.10	-1.04	0.98
106	親切的な	1.58	1.17	1.57	0.86	1.65	0.78
107	いやらしい	-1.43	1.20	-1.34	1.18	-1.44	0.90
108	いい加減な	-1.79	1.02	-1.77	0.83	-1.61	0.66
109	のろま	-1.33	0.89	-1.33	1.04	-1.30	0.70
110	楽観的な	0.55	1.12	0.10	1.14	0.43	0.84
111	人がいい	0.30	1.33	0.69	1.32	0.91	1.08
112	するどい	1.21	1.34	0.66	1.26	0.74	0.81
113	気にくわない	-2.00	0.83	-1.75	0.91	-1.61	0.89
114	ゆかいな	1.15	0.80	1.38	0.77	1.48	0.79
115	立派な	1.55	1.25	1.33	0.95	1.26	0.75
116	うそつき	-1.79	1.22	-1.94	0.84	-1.96	0.82
117	まじめ	0.79	1.27	0.99	1.05	1.17	0.72
118	魅力的	2.06	0.97	1.60	1.06	1.61	0.94
119	忘れっぽい	-0.67	0.69	-0.76	0.82	-0.61	0.78
120	注意深い	0.64	1.09	0.38	0.95	1.44	0.59
121	おもしろい	1.46	0.56	1.23	0.80	1.04	0.56
122	ふまじめな	-1.39	0.75	-1.53	0.87	-1.48	0.59
123	明るい	-1.82	0.95	1.76	0.88	1.78	0.74
124	頭のいい	1.06	1.00	1.09	0.97	0.70	0.82
125	口ばっかりの	-1.94	0.93	-1.92	0.79	-1.22	1.09
126	陰険な	-2.03	1.24	-1.97	0.99	-1.61	1.12
127	ステキな	1.67	1.05	1.28	1.05	1.22	0.80
128	正直な	1.33	1.36	1.79	1.08	1.87	0.82
129	落ち着いたのがある	1.52	0.87	1.43	0.94	1.30	0.77
130	責任感のある	1.94	1.20	2.11	1.01	2.09	0.79

呈示 No.	愛工大 3 K (2)		愛工大 3 K S (1)		愛工大 3 K S (2)		青木に よる語	青木と 対し うる語
	\bar{x}	s	\bar{x}	\bar{s}	\bar{x}	s		
91	1.41	0.59	1.39	0.85	1.09	0.73		
92	1.73	0.70	1.89	0.58	1.57	0.66	*	*
93	-1.05	0.58	-1.06	0.73	-0.83	0.98		*
94	1.09	0.43	1.33	0.69	1.04	0.71		
95	1.32	0.78	1.33	0.97	1.48	0.79		*
96	1.73	0.77	2.06	1.26	2.04	0.88		*
97	-1.59	0.67	-1.28	0.67	-1.35	1.19		
98	-1.36	0.58	-1.72	0.67	-1.22	1.41		*
99	-0.55	0.51	-0.89	0.90	-0.83	1.19		
100	-0.55	1.22	-0.50	1.25	-0.13	1.18		
101	0.45	0.92	0.78	0.81	0.78	0.74	*	*
102	-0.55	0.67	-0.67	0.69	-0.70	0.97		*
103	-0.82	0.50	-0.61	0.92	-0.83	1.11		
104	-1.18	0.50	-1.11	0.47	-1.30	0.97		
105	-1.27	0.77	-0.72	1.07	-0.96	1.15		*
106	1.64	0.73	1.33	0.91	1.48	0.73	*	*
107	-1.59	0.67	-1.50	0.99	-1.30	1.19		
108	-1.68	0.72	-1.94	0.64	-1.44	1.04		*
109	-1.41	0.80	-1.22	1.06	-1.30	0.77		
110	0.45	1.01	0.33	0.84	0.13	1.10	*	*
111	0.77	1.07	0.67	1.28	0.44	0.90		*
112	0.55	0.91	0.33	0.91	0.57	0.99		
113	-1.50	0.60	-1.67	0.59	-1.22	1.09		
114	1.32	0.72	1.22	0.88	0.83	0.89		
115	1.18	0.85	1.72	0.83	1.13	0.92		
116	-1.82	0.59	-2.22	0.55	-1.20	1.26		
117	1.05	0.84	1.17	0.71	0.78	1.31		*
118	1.32	0.89	1.33	0.91	1.16	1.01		
119	-0.86	0.47	-0.94	0.64	-0.48	1.08		*
120	0.27	0.94	0.56	0.71	0.17	1.03	*	
121	1.09	0.68	1.22	0.65	1.13	0.76		
122	-1.36	0.49	-1.39	0.61	-1.52	0.95		
123	1.73	0.83	1.56	0.71	1.35	0.71		
124	0.95	0.79	1.06	1.06	0.96	0.88		
125	-1.36	0.73	-2.33	0.69	-1.52	0.99		
126	-2.09	0.53	-1.83	0.71	-1.09	1.24		
127	1.23	0.97	1.28	0.75	0.91	0.85		
128	1.86	0.94	1.72	0.67	1.70	0.82	*	*
129	1.32	0.72	1.39	0.50	1.30	0.88	*	*
130	2.05	0.65	2.33	0.69	2.13	0.69	*	*





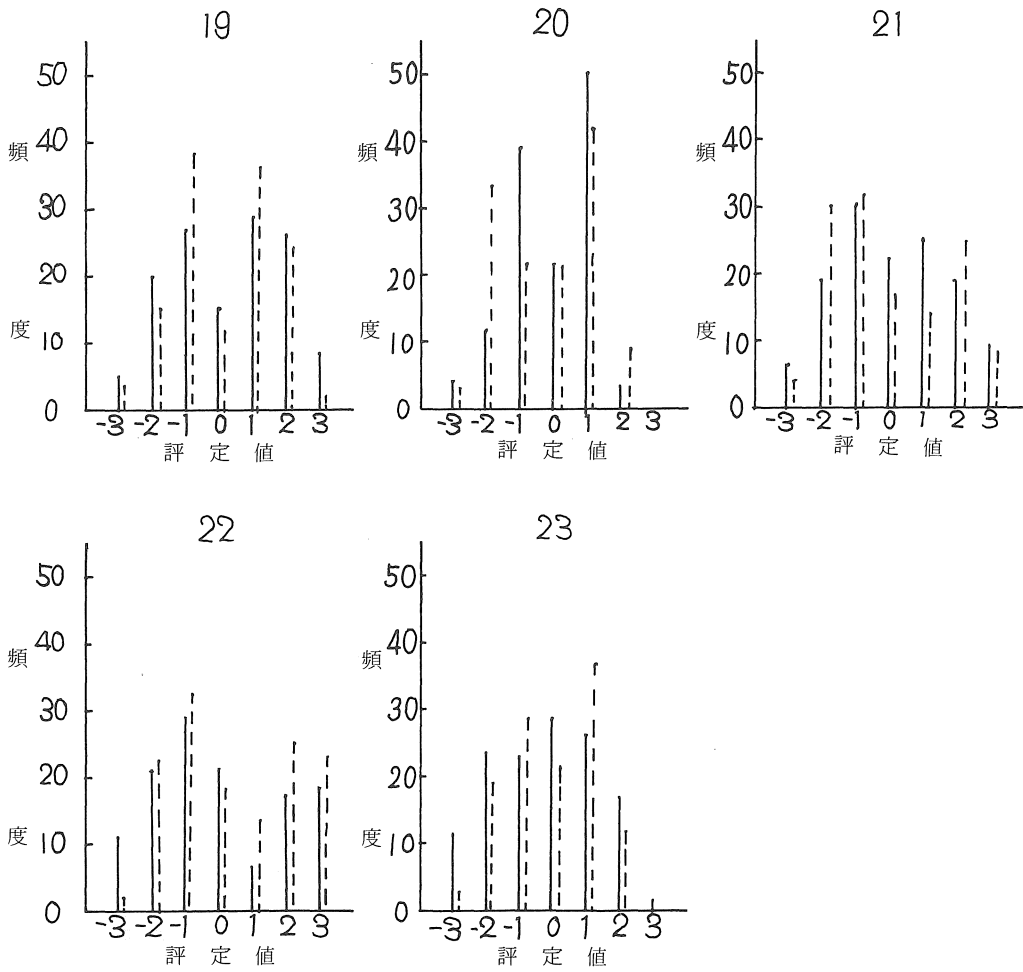
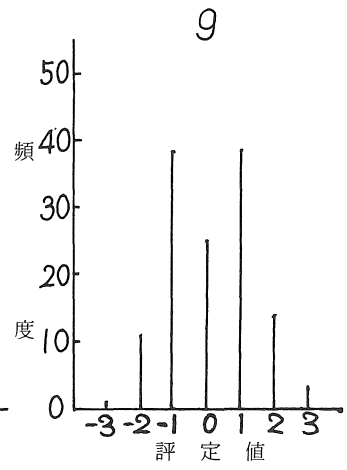
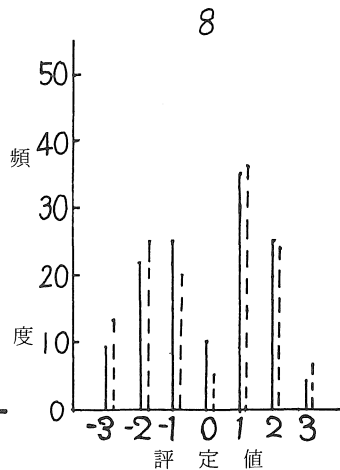
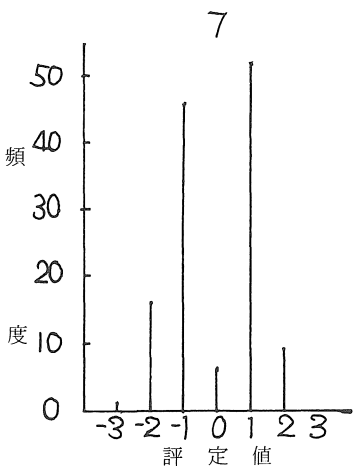
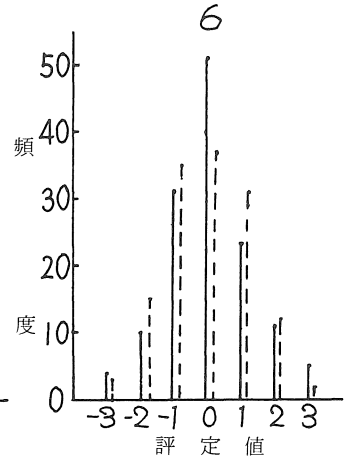
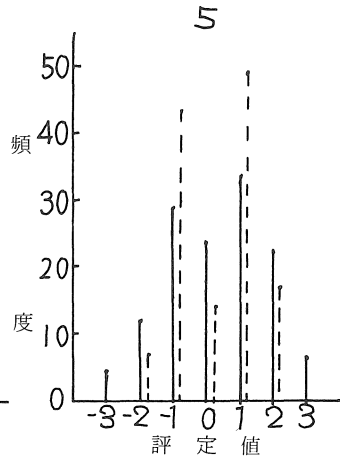
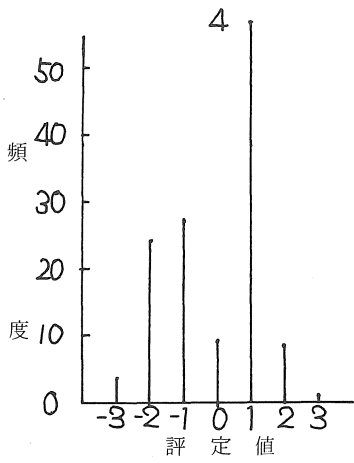
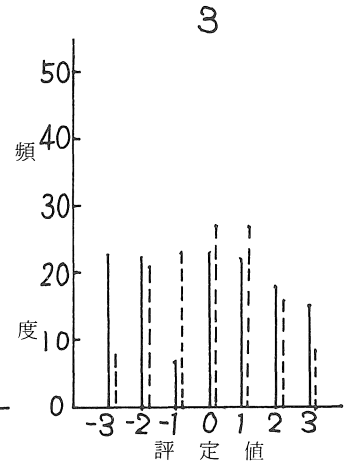
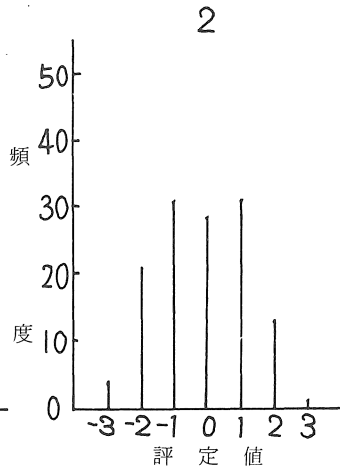
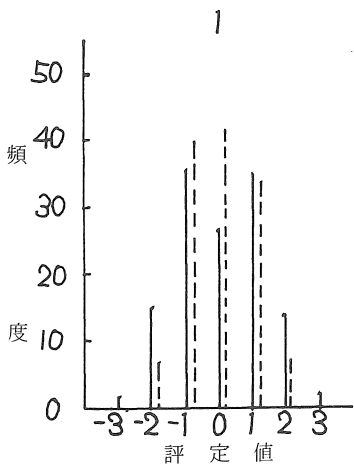


図1 130語に対する評定点の個人別ヒストグラム (3 K)
 (実線は第1回目の測定結果, 破線は第2回目の測定結果を示す。)



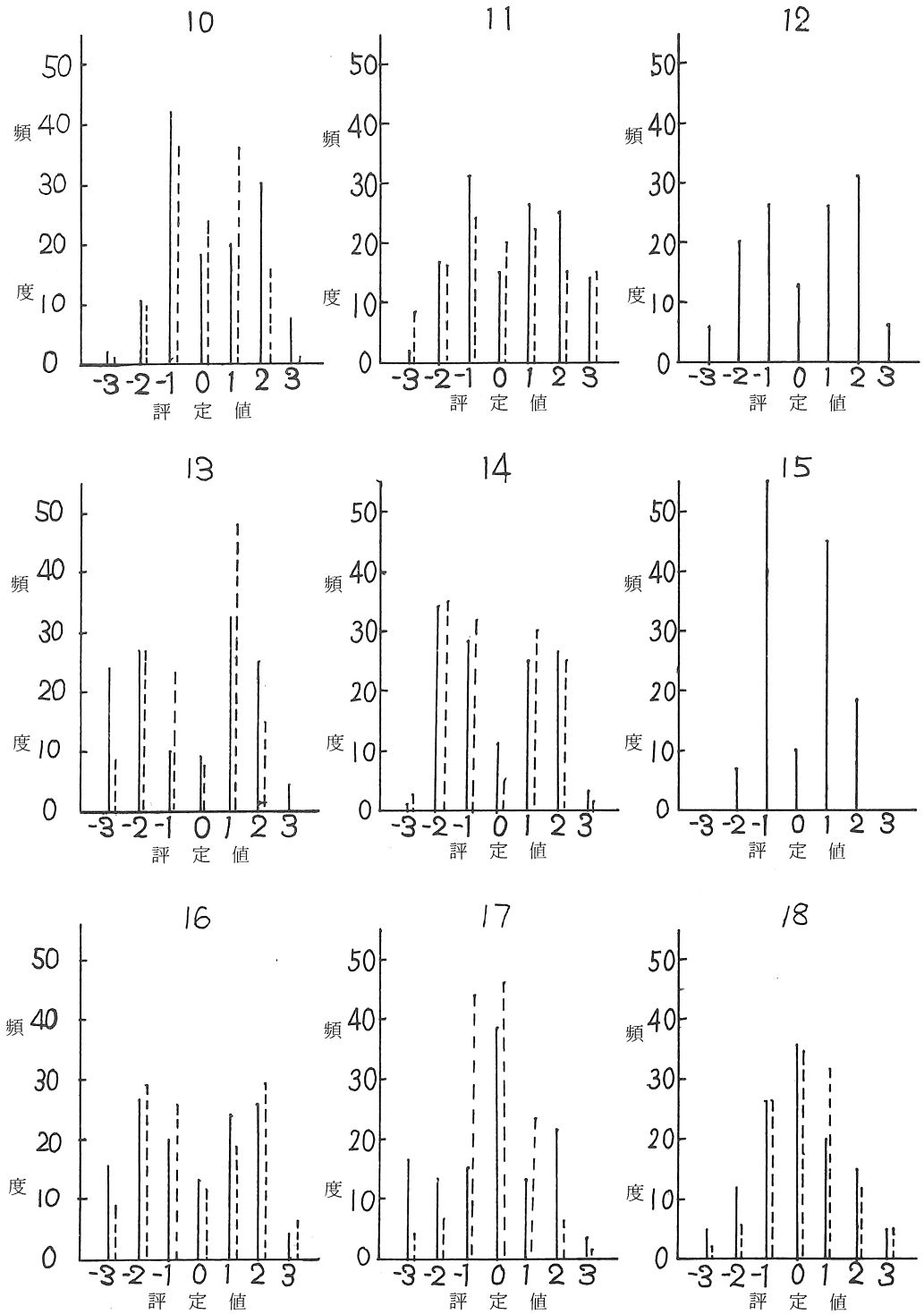


図2 130語に対する評定点の個人別ヒストグラム (3KS)
 (実線は第1回目の測定結果, 破線は第2回目の測定結果を示す。)

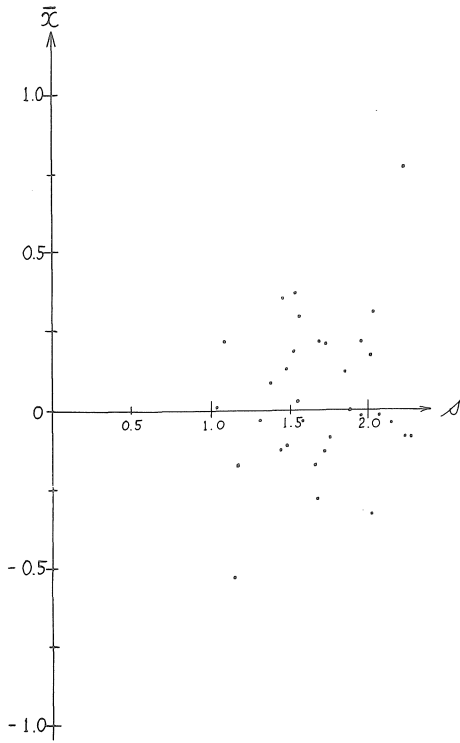


図3 130語に対する評定点の、被験者ごとの \bar{x} 及び s の分布(3 I D)(各点は各被験者に対応する。)

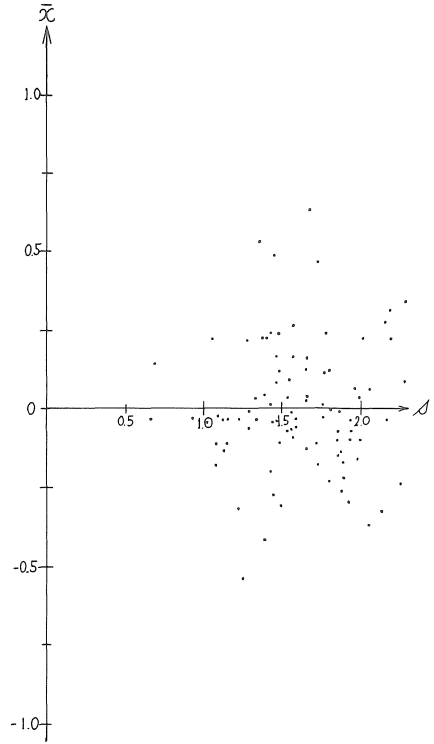


図4 130語に対する評定点の、被験者ごとの \bar{x} 及び s の分布(2 K)(各点は各被験者に対応する。)

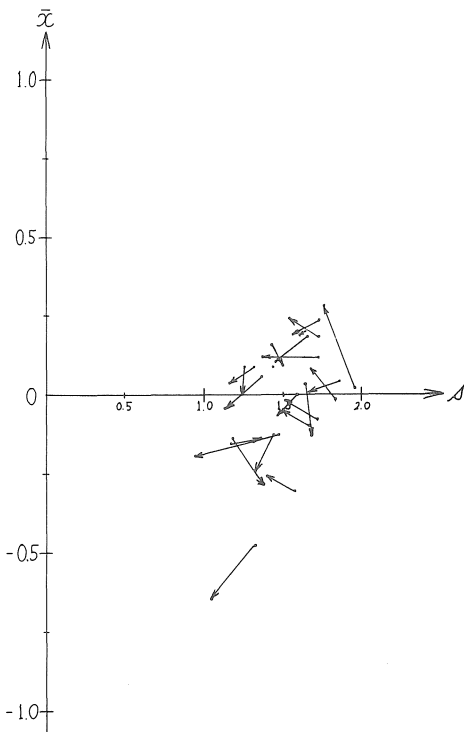


図5 130語に対する評定点の、被験者ごとの \bar{x} 及び s の分布(3 K)(各点は各被験者に対応する。)

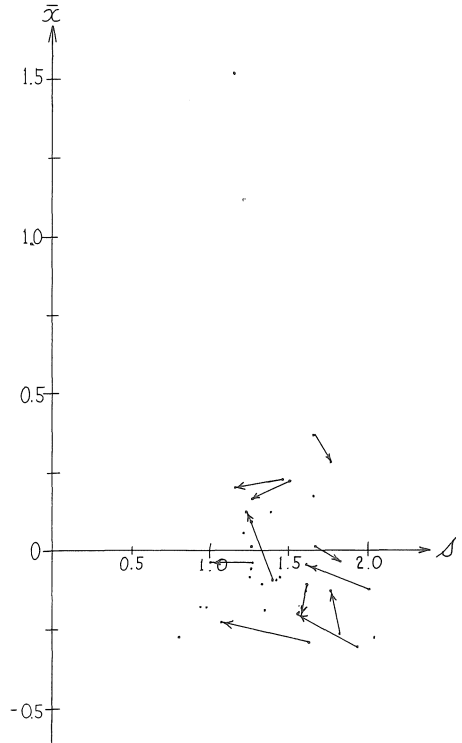


図6 130語に対する評定点の、被験者ごとの \bar{x} 及び s の分布(3 K S)(各点は各被験者に対応する。)

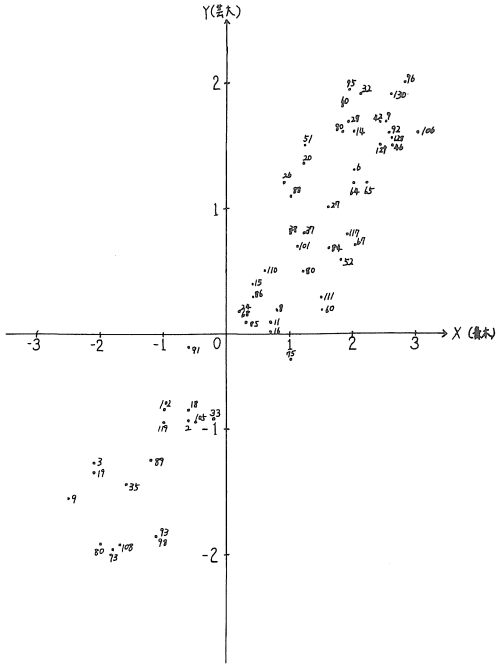


図7 各語に対する代表値比較図 (青木研究³⁾V S . 名芸大 3 I D)

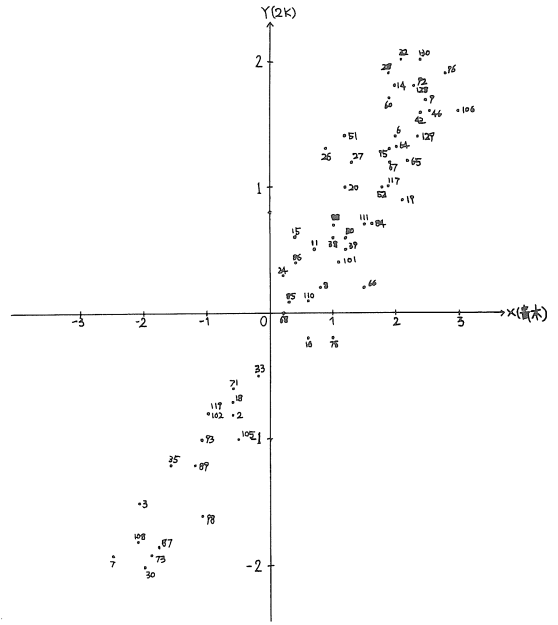


図8 各語に対する代表値比較図 (青木研究³⁾V S . 愛工大 2 K)

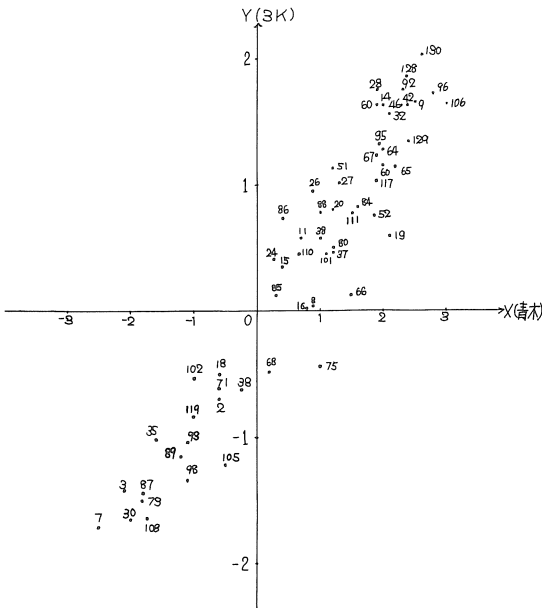


図9 各語に対する代表値比較図 (青木研究³⁾V S . 愛工大 3 K)

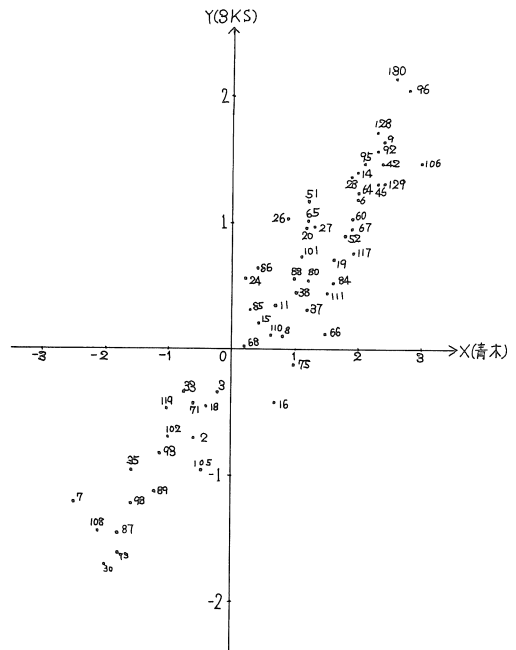


図10 各語に対する代表値比較図 (青木研究³⁾V S . 愛工大 3 KS)

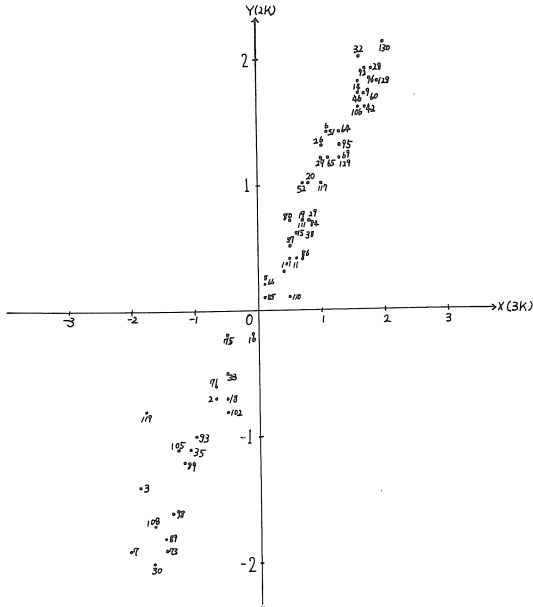


図11 各語に対する代表値比較図 (愛工大 3 K V S . 愛工大 2 K)

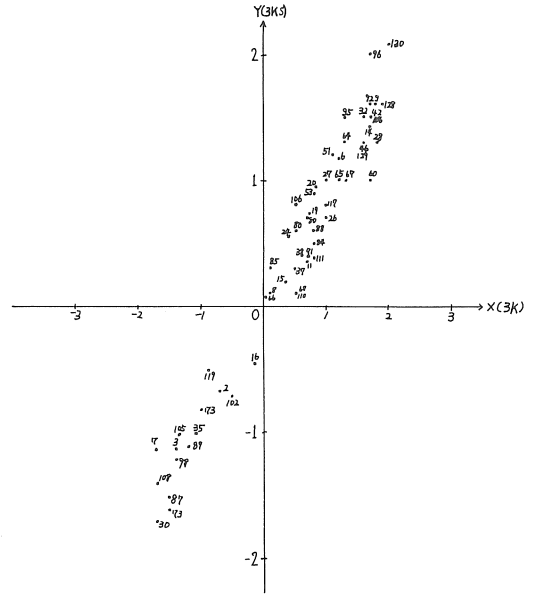


図12 各語に対する代表値比較図 (愛工大 3 K V S . 愛工大 3 K S)

表 4 対応語比較分析結果

X	Y	回 帰 式	回 帰 分 析 結 果 (分散分析表)							図 No.
			要 因	S	ϕ	V	F ₀	F (0.05)	F (0.01)	
青木による 各語の中央値	名工大3IDによる 各語の平均値	$Y=0.70X-0.06$	回帰による	62.91	1	62.91	201 **	4.00	7.08	7
			回帰からの	18.16	58	0.31				
			計	81.07	59					
			要 因	S	ϕ	V	F ₀	F (0.05)	F (0.01)	
青木による 各語の中央値	愛工大2Kによる 各語の平均値	$Y=0.73X-0.22$	回帰による	67.70	1	67.70	209 **	4.00	7.08	8
			回帰からの	18.75	58	0.32				
			計	86.45	59					
			要 因	S	ϕ	V	F ₀	F (0.05)	F (0.01)	
青木による 各語の中央値	愛工大3Kによる 各語の平均値	$Y=0.68X-0.34$	回帰による	60.24	1	60.24	181 **	4.00	7.08	9
			回帰からの	14.68	58	0.33				
			計	74.92	59					
			要 因	S	ϕ	V	F ₀	F (0.05)	F (0.01)	
青木による 各語の中央値	愛工大3KSによる 各語の平均値	$Y=0.58X-0.22$	回帰による	45.71	1	45.71	184 **	4.00	7.08	10
			回帰からの	14.39	58	0.25				
			計	60.10	59					
			要 因	S	ϕ	V	F ₀	F (0.05)	F (0.01)	
愛工大3Kによる 各語の平均値	愛工大2Kによる 各語の平均値	$Y=1.06X-0.02$	回帰による	81.10	1	81.8	12104 **	4.00	7.08	11
			回帰からの	0.388	58	0.0067				
			計	81.488	59					
			要 因	S	ϕ	V	F ₀	F (0.05)	F (0.01)	
愛工大3Kによる 各語の平均値	愛工大3KSによる 各語の平均値	$Y=0.88X+0.04$	回帰による	57.56	1	57.56	1308 **	4.00	7.08	12
			回帰からの	2.56	58	0.044				
			計	60.12	59					
			要 因	S	ϕ	V	F ₀	F (0.05)	F (0.01)	

V 考察

(1) 図1及び図2の、各個人の評価傾向を示すヒストグラムから見ると、一般的にいわれているとおり、各個人の評価の傾向は無視しえないであろう。特に今回の実験に関していえば、「0」の扱いが各個人によってずいぶん異った傾向を示す事が図から読みとれるが、それ以上に、各個人の評価傾向の再現性の良さが目につく。

(2) 図3, 4, 5, 6, 7上にプロットされた、各個人の評価点の平均値 \bar{x} と標準偏差 s の、 $s-\bar{x}$ 平面における分布をみると、どの被験者群に於ても、ほぼ \bar{x} は-0.5か

ら+0.5, s は1.0から2.5の範囲に収まる事が判り、特に被験者数が他の群と比較して多い、2Kの分布図(図4)では、中心ふきんに密集している様子が見られる。

一方、図5, 図6からは、再現実験によって、各個人の評価の傾向(\bar{x} と s)が、どう変化するかが見られる。図中の矢印は変化の方向を示すものであるが、これを見ると、左方向へ向く矢印の方が多いようである。実際、3K(図5)については22名中18名が、又、3KS(図6)については12名中10名が、再現実験において、標準偏差の値を減少させている。これを $P=0.5$ に対して検定すると、各々1%有意、5%有意であり、偶然によるも

のとはいいがたい。今回は再現実験を実施した被験者の人数が少ないこともあり、この点についての確かな推論は行えないが、今後研究を進めるに当たって考慮すべき事項であろう。

(3) 青木³⁾との類似語・共通語等、対応のつく語で、かつ、青木³⁾によって「望ましさ」の評定が行なわれて、その結果が「中央値」及び「四分偏差」の形にまとめられて発表されている語（計60語。表3の右端の欄に掲示されている。）について、青木²⁾による「中央値」をXとし、我々の測定結果すなわち、各語に対する評定値の \bar{x} をYとし、各被験者群ごとに比較対応図を描いたものが、図7、8、9、10である。又、これらと同じ60語について、3Kによる評定値(\bar{x})をXに、2Kによる評定値(\bar{x})をYにとって、比較対応図を描いたものが図11であり、同様に3Kによる評定値(\bar{x})をXに、3KSによる評定値(\bar{x})をYにとって、描かれた比較対応図が図12である。但し、図中の各点に附記された数字は、表3の「呈示NO.」であり、各語の位置を示すものである。尚、3K及び3KSのデータとしては、第二回目の評定実験の値が用いられている。

これらのグラフから見る限り、青木³⁾は中央値であるのに対して、我々は平均値を用いたが、被験者群の違いや、調査方法の大巾な相違にもかかわらず、予想以上に対応関係が強そうである。しかし、当然の事とはいえ、比較的近似した被験者群に対して同一の方法を用いて評定を行った図11・図12の方がはるかに対応関係が強そうである。これを「相関関係」と呼ばないで、あえて「対応関係」という語を用いているのは、60語の刺激語が、外的基準として与えられているからである。

(4) 次に、(3)の各点を、1組の対応する変量とみなして、回帰分析を行った所、表4の如き結果を得た。自由度を減じ、安全側で検定する事に問題はないとはいえ、一方が \bar{x} であり、一方が「中央値」であるものをこの様に取

り扱う事には疑義が残るが、直線的比例関係の検討の為に敢えてこの様な分析を行ってみた。我々のデータには、呈示順序の効果が交絡しているものと思われるが、この分析結果から見る限り、XとYとの間の直線的比例関係は比較的よく保たれているものと思われる。青木³⁾のデータと、今回の各被験者群とのデータとの回帰直線の傾きが0.58から0.73という、1よりかなり低い値となったのは、青木²⁾が1から9までの9ポイントスケールであるのに対して、我々が、-3から+3までの7ポイントスケールを用いた事に起因するものと考えられる。

VI 結論

我々の今回の実験は、どの被験者に対しても同一の評定用紙を用いたため、呈示順序の効果が交絡していると思われるが、その効果は概して少く、全く異なる実験条件下で行なわれた青木³⁾のデータとの、かなりよい直線的比例関係を得た。両実験の方法が相当に異ったものである事を考えると、人間の心の中に蓄えられた、人物表現の為の形容語に対する「望ましさ」の評価値は、予想以上により再現性を有しているといえよう。

参考文献

- 1) Anderson, N. H. : Likableness ratings of 555 Personality-Trait Words, *Journal of Personality and Social Psychology*, 9 (3), 272—279, 1968.
- 2) Ash, S. E. : Forming Impressions of Personality, *Journal of Abnormal and Social Psychology*, 41, 258—290, 1946.
- 3) 青木孝悦：性格表現用語の心理・辞典的研究，*心理学研究*，42（1），1—13，1971.
- 4) 尾関 守・小田哲久：時系列情報の統合過程に関する研究，*愛知工業大学研究報告*14，161—166，1979.

(受理 昭和56年1月16日)